

T830011L 3t アルミジャッキ

取扱説明書

この度は、T830011L 3t アルミジャッキ をお買い上げいただきありがとうございます。
必ずこの「取扱説明書」をよく読み理解した上で、本製品を安全にご使用ください。
また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



T830011L 3t アルミジャッキ は自動車をリジッドラック（馬ジャッキ）で保持をするために上昇・下降をするための工具です。本来の目的以外での使用は絶対にしないでください。

免責事項について

- ・ 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して当社は一切責任を負いません。
- ・ 製品の使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害（事業利益の損失、逸失利益、事業の中断等）に関して当社は一切責任を負いません。
- ・ この「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・ 当社が関与しない機器との組み合わせによる誤作動、故障等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

*注）メーカーの都合によりセット内容、デザイン等が変更になる場合があります。ご了承ください。

安全に対する危険・警告・注意事項

作業者は必ず本製品を熟知した上でご使用ください。本説明書の警告・注意事項をよく読み、正しく理解してから使用してください。怠った場合、死亡または重傷等の重大な事故の危険があります。

危険 下記内容をお守りください。死亡または重症を負う原因になります。

ジャッキアップした状態で、車両の下での作業は絶対にしないでください。死亡または重傷の危険があります。車両の下で作業する場合は必ず、リジッドラックを使用してください。

警告 下記内容をお守りください。重症または重大な事故の原因になります。

- ・ この「取扱説明書」をよく読み、よく理解した上でご使用ください。また、ジャッキを熟知した専任の作業者以外の使用は絶対にしないでください。
- ・ 耐荷重(能力)以上の荷重をかけて使用しないでください。
- ・ 受け皿と車両の間には、専用のラバーパッドまたはメーカーの推奨するアタッチメント以外のものを使用しないでください。昇降中に外れる危険があります。
- ・ 傾斜地・平坦でない床・硬質でない床での本製品の使用は絶対に使用しないでください。
- ・ ジャッキアップするときはエンジンを切り、パーキングブレーキをかけた上でシフトを「P」(*M/T車の場合は1速)にしてください。また、反対側のタイヤに輪留めをしてください。
- ・ 作業を行う際は必ず、リジッドラックを使用してください。また、使用するリジッドラックの取扱説明書および注意書きを正しく理解してから、安全に作業を行ってください。
- ・ ご自身での修理・分解・改造等はいしないでください。異常や違和感がある場合は、お買い上げの販売店に修理依頼をしてください。
- ・ 安全弁およびシリンダーの部品には絶対に触らないでください。
- ・ 子供の手の届くところに放置・保管しないでください。また、使用時は周囲に子供がいらないか注意してください。

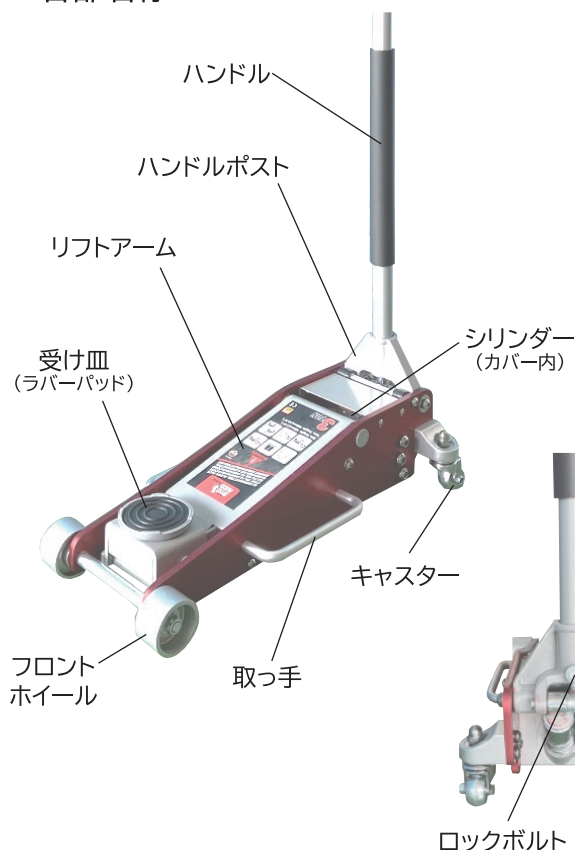
注意 下記内容をお守りください。事故や故障の原因になります。

- ・ 使用前に日常点検を行い、ハンドルが正しく取り付けであることを確認してください。
- ・ ジャッキアップ時は、人や荷物を降ろしてください。
- ・ 受け皿は車両ごとの説明書等を確認し、適切な位置にかけてください。
- ・ リフトアームの昇降は必ず、周りの安全を確認してから行ってください。また、下降時はハンドルをゆっくりと回し、車両をゆっくりと下げてください。
- ・ ジャッキアップ時は、車両に対しジャッキを斜めに入れしないでください。
- ・ ジャッキアップ状態での車両の搬送はしないでください。
- ・ 水気のある場所での作業、保管はしないでください。洗車時の使用や屋外での保管等は故障の原因になります。
- ・ 2 台以上のジャッキを同時に使用しないでください。
- ・ リリースバルブを緩めすぎないでください。部品が外れてオイルが漏れる恐れがあります。

■ 日常点検・保管について

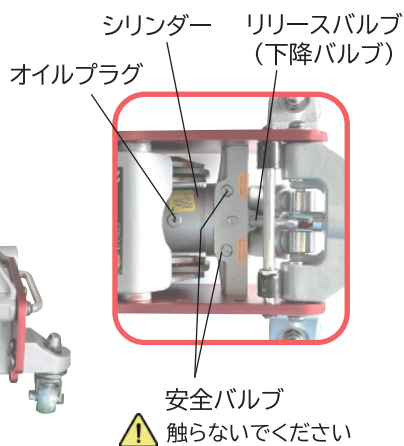
- ・ 各可動部、摺動部は日常点検を行い、定期的に給油を行ってください。
(リフトアーム、ホイール軸部等)
- ・ リフトアームを一番下げた状態で保管してください。
- ・ 水気の無い屋内で保管してください。
- ・ 点検時または作業時に作動油の漏れ・各部品の損傷・変形・ガタつき・異音等がある場合は、ジャッキの使用を中止してお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。そのまま使用し続けると、ジャッキの破損および重大な人身事故が起こる原因になります。

■ 各部名称



■ 仕様

能力	3.0t
最低位	100mm
最高位	465mm
全長	595mm
全幅	292mm
フレーム高	155mm
ハンドル長	1280mm
重量	26.2kg
受け皿寸法	98mm



■ 組立

1. ハンドルポストにある輸送用治具を外してください。(バネの反発力があるので、指等を挟まないよう注意してください。)
2. 2分割のハンドルを接続し、ハンドルをハンドルポストに接続します。この時、穴奥のロッド(リリースバルブ)とハンドル下部の四角溝を合わせてください。
3. ロックボルトでハンドルを固定してください。ロックボルト固定後、ハンドルが抜けずにスムーズに回転することを確認してください。
4. 本体部ボルト、ホイール、カスターにガタ等の異常がないか確認してください。

■ 基本操作

- ・ ハンドルを回転すると、シリンダーのリリースバルブが開閉します。(右に回すと閉じ、左に回すと開きます。)
- ・ リリースバルブを閉じた状態で、ハンドルを上下に漕ぐとリフトアームが上昇・保持します。リリースバルブを開けると、リフトアームが下降します。



リリースバルブを急に開けると急激に下がります。ゆっくりとハンドルを緩め、ゆっくりとリフトアームを下降してください。

■ 油圧システムのエア抜きについて

本製品を移送時、油圧システム内にエアが混入する場合があります。開封後は下記のエア抜き作業を行ってください。

また今後の使用においてエアが混入する場合があります。作業に違和感がある場合はエア抜き作業を行ってください。

≪ エア抜き作業手順 ≫

1. リリースバルブを開いた状態にします。(リフトアーム下降状態)
2. 5～10回、空漕ぎをして油圧システム内のエア抜きを行います。
3. オイルプラグを外して(緩めて)、シリンダー内部の空気と外気を調整します。
4. 荷重をかけていない状態で通常の上昇・下降動作を数回行い、違和感がないか確認します。

*リフトアームの上昇不良または保持せず下がる場合は、再度エア抜き作業を行ってください。

*エア抜き作業を行っても改善しないまたはジャッキオイル漏れがある場合は、お買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

■ メンテナンスについて

メンテナンス時の注意

オイルを交換および補充する場合は、周囲に火気のない風通しの良い場所で行ってください。

- ・ メンテナンスおよび修理はジャッキの構造を熟知した作業者が行ってください。
- ・ 頻繁に使用する場合は、約1年毎にジャッキオイルを交換することを推奨します。
- ・ シリンダーにオイル漏れがない場合は、注油の必要はありません。
- ・ ジャッキオイルを点検・補充・交換する場合は、シリンダーのオイルプラグより行ってください。
*推奨ジャッキオイル：ISO VG15 相当
- ・ オイル漏れや、作動に異常がある場合はお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

≪ ジャッキオイルの補充および交換について ≫

- ・ ジャッキオイルの補充・交換時は、リフトアームを最低位の状態で行ってください。
- ・ オイルプラグを取り外し、ジャッキオイルの抜き取りまたは注油を行います。
*オイルを交換する場合は、抜いた量を測定して同じ量注入してください。
- ・ ジャッキオイルの適正量目安は、オイルプラグ穴下端と油面まで約5～10mmです。
*ある程度の空間が必要です。いっぱいまでオイルを入れると作動不良の原因になります。
- ・ 交換・補充作業が完了したら、エア抜きを行ってください。
- ・ 定期的にオイル量が減少する場合、オイル漏れの可能性があります。修理依頼をしてください。



株式会社レックス
〒501-0231岐阜県瑞穂市野白新田55-1

#2871023